

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第24号 平成23年9月17日

一人気を吐きマルチ記録のたかあき！

	1	2	3	4	5	6	7	R
K	6	0	1	0	0	0	0	7
G	0	0	0	0	0	0	2	2

初回が無ければ... まー、頑張ったバッテリー！



9/17(土) ども自然公園野球場に出向き、オープン戦を行った。久々に対戦チーム探しに難を期し、結果的に横浜鳴とのダブルヘッダーを行った。時折スコールのような雨が降る天候の中、プレイボールとなった。今日の先発は、谷間を志願し深沢が今期2度目のマウンドに上がった。若くて元気の良い攻撃が、我がチームの守備に狂いを生じさせ、初回は、打者11人で被安打3、四球1、失策2等で6点を失点し、この失点が最後まで重く押し掛かり、初戦を落としてしまった。何とか完投で、投手陣の負担を軽減出来たかも知れない、という思いは、彼だけのものかも知れないが、様々な要因で投手陣が不足しているのも事実。そんな中、完投出来た背景には、捕手の好リードも隠れていた。徐々に投手を乗らせるリードは、術の一つであろう。さて、打線に目を向けてみると、久々にKの数が多かった。球の速さにびっくりなのか？変化球に動揺したのか？何れにせよ、打席においての打撃陣は全く元気が無かった。特に、2回には三者三振を喫するなど、バットに当たらなければ、次が無い。この変は、幾ら草野球でも、練習が必要なのでは？と感じるシーンであった。そんな中、たかあきが一人気を吐きマルチを記録、そして、今期好調な智が、安打を放ったが、3安打では寂しいものである。塁に出れないから、当然盗塁もこの試合は、ゼロを記録。この盗塁ゼロは、今期3回目の記録である。後半は、そこそこ締まったゲームだったので、本当に初回が悔やまれる内容である。そんな、今日の得点シーンを振り返ってみると、最終回たかあきが三遊安で出塁、その後盗塁を試みるも急遽取りやめ、そして後続はこの日初めての四球を選択し出塁、2塁への牽制球が逸れる間に、各走者が進塁し無死2・3塁、そして、次打者の時にWPで、三塁走者が生還し、やっと1点、しかし、この後続は倒れ1死3塁。続く打者は四球を選択し出塁、場面は、1死1・3塁、ここで、後続は、ボ手の三塁ゴロ、三塁走者はスタート良く走塁をし、この内野ゴロの間にホームインし、2点目を挙げたが、後続が倒れ、ゲームセットとなった。見せ場はこの回のみであったので、打線は水物とはいえ、やはり打てない結果は、敗戦へと繋がる、繋がったという第1試合の結果であった。2試合目は頑張ろう！